

リアルタイム現地情報

JA ほこた苺部会現地講習会を開催しました

令和7年7月11日（金）に、銚田市の生産者ほ場4か所において、JA ほこた苺部会の現地講習会を開催し、生産者34名が参加しました。

講習会では、普及センターから本年の気候や育苗中の高温対策、病虫害防除、環境制御技術について、肥料メーカーから肥培管理のポイントについて説明したのち、実際の各生産者における育苗の様子を見ながら意見交換を行いました。

9月から開始されるイチゴの定植に向けて、健全で十分な数の苗を確保することが重要ですが、本年度は昨年に引き続き気温が非常に高く、炭そ病やハダニ類といった病虫害の発生も多い傾向にあることから、育苗管理に苦労している様子が伺われました。

講習会後半では、それぞれの生産者が抱えている課題解決に向けた効果的な対策について出席者間で活発に情報交換が行われ、良質な苗づくりに向けて適正管理に取り組んでいくことが確認されました。

温暖化が進む中、厳しい環境条件下での育苗となっていますが、普及センターでは引き続き、生産者や関係機関と協力しながら、イチゴ経営体の所得向上のための支援をしていきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



（写真）講習会の様子